

J R 東日本労働組合

N A G A N O

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2020年 2月18日 No. 353

JR東日本労働組合
長野地方本部

発行者：臼井幸一

編集：情宣部

第7回 青柳事故研修開催

2月9日、最低気温 -5°C と平年より温かく、積雪が少ないなか、中央東線青柳駅において長野地本主催「第7回青柳事故研修」が開催されました。当日は15名の仲間が参加し、安全の碑があった場所での研修と、事故発生時刻の9:26に参加者全員で黙禱を捧げました。その後、参加者は駅近くの「金沢コミュニティーセンター」に移動し、研修スタッフの仲間から事故の概況説明、参加者全員での意見交換会を行いました。



意見交換会で参加者からは、「会社のサービス精神、サービスをやって当たり前という会社の空気やジョブローテーションへの危機感」「国鉄採用の先輩の想いを自分たちが受け継ぎ伝えていくことの重要性」「仕事の慣れへの怖さ」「あずさの車掌一人乗務は安全が担保されているのか?」「青柳研修で感じたことを生かしていく」「安全問題だけ見ても労働組合の必要性を感じている」「東京パラリンピックに臨むにあたり、安全を一番に考えて臨んでいきたい」など、参加者の率直な意見が述べられました。

地本からはまとめて青柳事故研修開催の意義や必要性、青柳の地に来たことのない仲間を連れてきて青柳のことを伝えてほしいなどの話がされました。一人ひとりが安全への想いをあらためて強く胸に刻み込みました。

労働組合として仲間の命と安全を守ると同時に、ご利用いただいているお客さまの命と安全を守ることにも私たちに課せられた重要な課題です。労働組合としての「究極の安全」を目指してこれからも運動を推し進めていきたいと思います。



青柳事故をから22年、事故を風化させず「安全」をつくり出そう!